

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターハートピア出雲スマイル		
○保護者評価実施期間	令和6年12月2日		～ 令和7年1月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 27名	(回答者数) 23名	
○従業者評価実施期間	令和6年12月9日		～ 令和7年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 10名	(回答者数) 10名	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月8日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・看護師が常勤しているため、発達障がい児だけでなく、医療的ケア児も受け入れている。	・発達や活動に応じた環境設定や人員配置を考慮している。 ・感染症拡大を事業内で起こさないように疾患により排菌期間別室対応している。	・シミュレーションや研修の取り組みを定期的に行い、自己啓発に努めていく。
2	・公認心理師、理学療法士、言語聴覚士、作業療法士、保育士、看護師など多職種が多角的にアセスメントし、計画を立て支援している。	・基本個別対応を主体として、個々の生活能力を向上させる支援をしている。	・職員間のコミュニケーションを密にし、淀みのない支援をしていく。
3	・ヒヤリハット、事故報告を意識的にあげている。	・ヒヤリハットや事故報告をあげることで個人や部署全体で環境や業務の見直しを行っている。	・安全衛生感染対策委員会に報告することで、法人全体で再発防止策を検討し、取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・個別の対処(感染症や静養など)が必要な際の部屋が足りない。	・建物全体の構造の要因がある。	・法人全体で増設等の検討をする。 ・他部署の部屋の利用を相談する。
2	・療育の専門的対応に関するマンパワーが不足する場合がある。	・職種別(保育士、作業療法士、看護師)の人員配置以外に補充が困難。	・他部署(放課後等デイサービス、相談、管理職)から必要な時には人員を補填し、安全に活動できるようにしている。 ・清掃、消毒、事務作業などの応援を求め、専門的業務に集中できるようにする。
3	・活動の振り返りや当日の計画を全員で周知、検討する時間を確保しにくい。	・雇用形態が異なることに加え、消毒、清掃、次の日の準備、事務業務で時間を要するため。	・業務日誌や終礼、申し送り書を活用している。 ・清掃、消毒、事務作業などの応援を求め、専門的業務に集中できるようにする。